



☆岡山天体物理観測所では、この8月よりクーデ型太陽望遠鏡のドーム建築工事が始まり、8月17日広瀬天文台長、山崎東大施設部長、大沢観測所長ほか関係者出席にて、地鎮祭が行なわれた。

敷地は観測所本館の西南に位置するゆるやかな斜面で、1階347.45平方メートル、2階ドーム部63.59平方メートル、ピロティ風に地上より浮上った直径9メートルの白色のしょうしゃなドームが、来春2月頃には、緑の松林の間に輝く予定である。

☆同上太陽望遠鏡ドームの基礎ほり工事が行なわれているが、8月23日敷地東南部（待機室のあたり）に地表下やく50センチの所から箱型石棺の一部が出土した。

自然剝離した扁平な石を幅30センチ、長さ40センチほど、南西北の三方をかこんで立てたもので、棺の延長部、人骨、副葬品などはみられず、ただその西方に向って、直径30センチ程の自然石を2メートルほど直線状に並べてあるのは意味ありげであった。

倉敷考古館の真壁主事の鑑定では、弥生式後期（5世紀ころ）のもので、この規模では、ふもとに農耕で生活した住民の5戸程度を治める族長の墓であろうという。

尚2~3世紀のものと思われる弥生式土器の破片が十数片、工事中の土砂の中から発見されたが、いずれも直径数センチ程度の細片で、壺あるいは皿の一部と考えられるが、考古学的にはこの場所から出土したという以外、余り重要性はないようである。（本誌アルバム欄参照）（G）

☆ハワイ大学教授 W. Steiger 博士は、本年度フルブライト交換教授として、本年9月より来年6月まで、東京天文台に滞在されることになった。同天文台測光部のお客さん格で、大気光・黄道光などの協同研究を行なう予定である。この方は、ハワイ大学、ハレアカラ大気光及び太陽観測所を作った人として有名である。なお、夫人は日系二世である由。

## 西村製の

# 30cm 反射望遠鏡

下記へ納入して好評を博しております

- 米 ゴッダード・スペース・フライト・センター  
ハイランド JR 短期大学  
ムレ大学
- 英 オックスフォード大学
- スイス バーゼル大学



30cm 反射望遠鏡

ニュートン・カセグレン兼用

## 株式会社 西村製作所

京都市左京区吉田二本松町 27  
電話 (77) 1570, (69) 9589

昭和41年10月20日

印刷発行

定価100円

編集兼発行人

印刷所

発行所

東京都三鷹市東京天文台内

東京都港区西新橋1丁目21番8号

東京都三鷹市東京天文台内

電話武蔵野45局(0422-45)1959

広瀬秀雄

笠井出版印刷社

社団法人日本天文学会

振替口座東京13595